

糖尿病の注射薬一覧

種類	商品名	主な作用	主な副作用	特徴・注意など
インスリン製剤	超速効型	ヒューマログ インスリンリスプロBS ルムジェブ ノボラピッド インスリンアスパルトBS フィアスプ アピドラ	超速効型や速効型インスリン製剤は食後高血糖を改善し、持効型溶解や中間型インスリン製剤は空腹時高血糖を改善します。 [体重への影響] 増加	[注意] ・超速効型インスリン製剤は食直前に投与 ・速効型インスリン製剤は食前30分に投与 ・低血糖に対する注意事項と対処法を、本人のみならず家族などにも知っておいていただく必要があります。 ・同じ場所に繰り返し皮下注射し続けると吸収が低下し、効果が得られにくくなる場合があるため投与部位を変えましょう。
	速効型	ヒューマリンR ノボリンR		
	中間型	ヒューマリンN ノボリンN		
	持効溶解型	レベミル トレシーバ ランタス インスリンラルギンBS		
	配合溶解	ライゾデグ		
	混合型	ヒューマログミックス25 ヒューマログミックス50 ヒューマリン3/7 ノボラピッド30ミックス ノボラピッド50ミックス ノボリン30R		
GLP-1受容体作動薬	1日1~2回投与	ビクトーザ バイエッタ リキスミア リベルサス	膵臓のβ細胞上のGLP-1受容体に結合して、血糖値に応じてインスリン分泌を促進させ、グルカゴン分泌を抑制します。	[特徴] 食欲抑制作用があり、体重減少効果も期待できます。 [注意] SU薬やインスリン製剤との併用により低血糖の発現頻度が単独投与の場合より高くなるので注意が必要です。
	週1回投与	トルリシティ オゼンピック		
	インスリンとの配合薬	ゾルトファイ ソリクア		
GIP/GLP-1受容体作動薬	週1回投与	マンジャロ	膵臓のβ細胞上のGIP及びGLP-1受容体の両者に結合して、血糖値に応じてインスリン分泌を促進させ、グルカゴン分泌を抑制します。	下痢 便秘 嘔気などの消化器症状 急性膵炎 [特徴] GIP及びGLP-1受容体両者に結合するため、より強力な作用が期待されます。 [注意] SU薬やインスリン製剤との併用により低血糖の発現頻度が単独投与の場合より高くなるので注意が必要です。